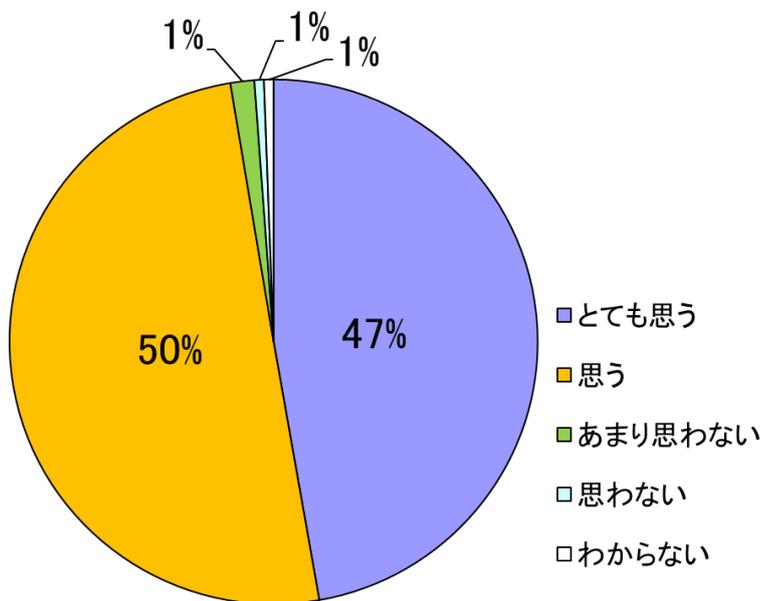


※今年度より、全質問の回答選択肢に「わからない」を追加しました。

1. お子さんは、楽しく学校に通っていると思いますか。



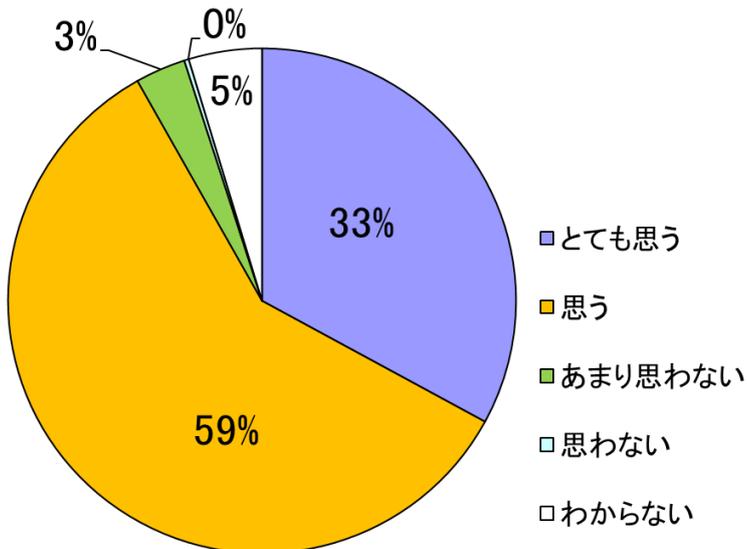
【令和6年度】

とても思う	47%	97%	1% down
思う	50%		
【令和5年度】			
とても思う	46%	98%	
思う	52%		

「とても思う」「思う」の回答は全体の97%で、1%減少したものの、昨年度とほぼ同じ割合となりました。児童へのアンケート「学校は楽しいですか」の質問においても、低学年、高学年共に90%以上の児童が「楽しい」と回答しています。

児童が学校生活を「楽しい」と感じる理由はそれぞれにあると思いますが、その根底には「安心して学校に来られる」ということが不可欠です。今後も、児童が安心して、学校に行くのが「楽しみ」となるような学級・学年・学校づくりに努めてまいります。保護者の皆様におかれましては、これまででも学校の教育活動にご協力いただきてきましたが、今後も引き続きご理解とご協力をくださいますようお願いいたします。

2. 一人一人の思いや考えを大切にした学年・学級経営がされていると思いますか。



【令和6年度】

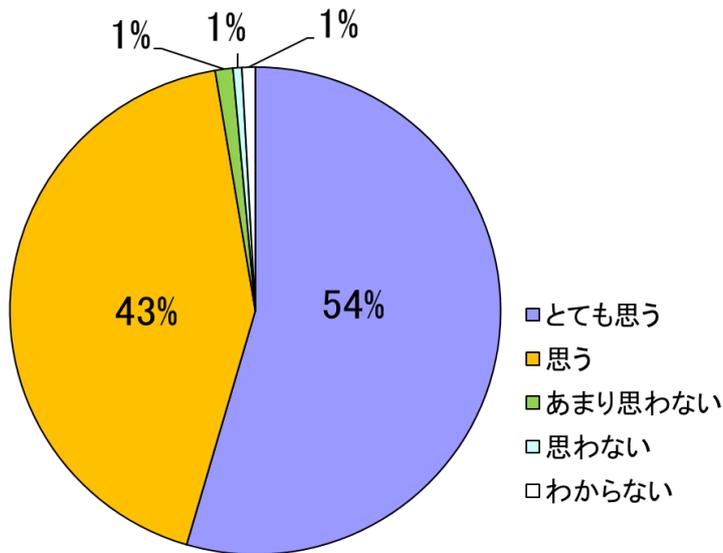
とても思う	33%	92%	5% down
思う	59%		
【令和5年度】			
とても思う	34%	97%	
思う	63%		

「とても思う」「思う」の回答は全体の92%で、昨年度より5%減少したものの、引き続き90%以上の方々に肯定的な回答をいただきました。

今年度も、「自己肯定感を高める」という教育理念のもと、児童が自分の思いを発信したり、できるようになりたいことに挑戦したりすることに対して、最大限に支援してきました。また、係活動や委員会活動等を通して、児童自身が活動内容を考え、自主的に取り組むことができるような支援に努めてきました。

今後も、児童が自分の思いをさまざまな場面で表現し、実現できるように、教職員一同で支援していきます。

3、学年の活動や運動会など、学校全体の教育活動は、児童にとって生き生きと活躍できる場になっていると思いますか。



【令和6年度】

とても思う	54%	97%	↓ 1% down
思う	43%		

【令和5年度】

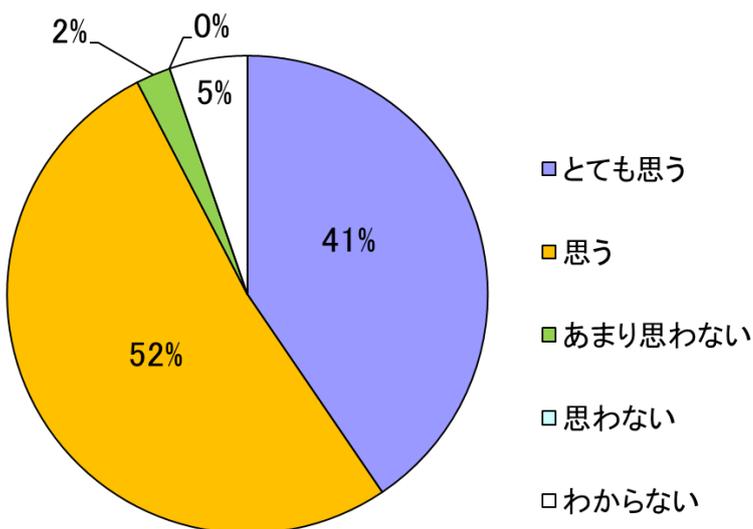
とても思う	57%	98%
思う	41%	

「とても思う」「思う」の回答は全体の97%で、昨年度とほぼ同じ割合となりました。とても多くの保護者の方々に「生き生きと活躍できている」と回答していただいています。

各学年で行う行事等については、それぞれに実行委員を設け、児童一人一人が活躍できる場面をつくるように努めています。また、運動会等、学校全体の大きな行事においては、高学年が中心となって計画・運営することで、低学年へのよい手本となっています。

今後もさまざまな行事や活動の中で、児童が自分の思いをもち、それを表現していくことができるように支援していきます。

4、係活動や当番活動、実行委員活動などを通して、主体性や責任感、満足感を得られるように指導していると思いますか。



【令和6年度】

とても思う	41%	93%	↓ 5% down
思う	52%		

【令和5年度】

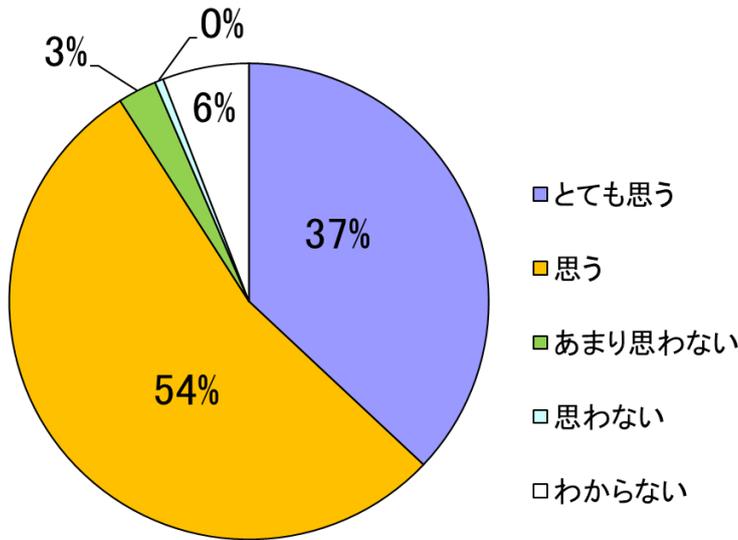
とても思う	43%	98%
思う	55%	

「とても思う」「思う」の回答は全体の93%で、昨年度より5%減少しましたが、引き続き多くの保護者の方々に「主体性や責任感、満足感を得られるような指導をしている」と回答していただいています。

各種活動において、教師から指示する場面ももちろんありますが、児童が自ら活動内容を考え、自主的に取り組むことができるような場面を多く取るように努めています。特に高学年においては、学級、学年に留まらず、委員会活動や各種行事などにおいても、児童が主体的に取り組むことができるような指導・支援を心がけています。

さまざまな活動を通して、児童が友達とかわり合いながら成長していくことができるように、今後も指導・支援をしていきます。

5. 児童が体を動かす楽しさや、友達と共に活動する喜びを味わえるような指導をしていると思いますか。



【令和6年度】

とても思う	37%	91%	4% down
思う	54%		

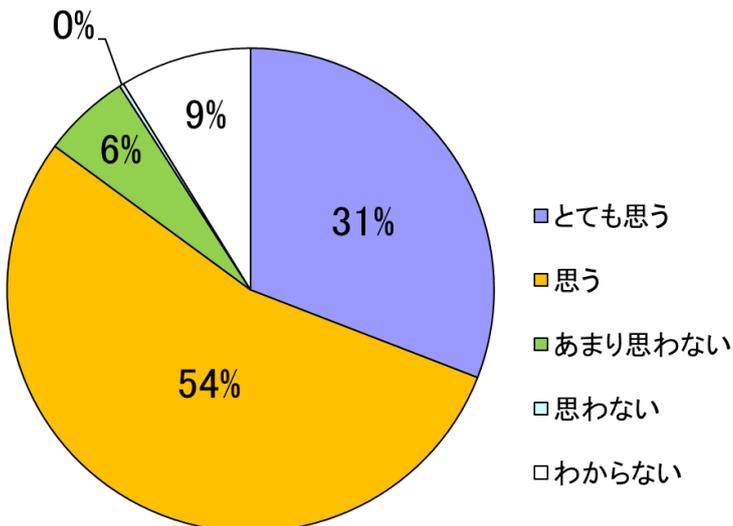
【令和5年度】

とても思う	36%	95%
思う	59%	

「とても思う」「思う」の回答は全体の95%で、昨年度より4%減少したものの、引き続き多くの保護者の方々に肯定的な回答をいただいています。

体育学習においては、児童が体を動かす楽しさを味わいながら学ぶことができるように、各学年で研究・研修を重ねています。授業では、楽しそうに活動したり、真剣に運動したりしている児童の様子を見ることができます。また、中休みや放課後の校庭では、とてもたくさんの児童が夢中になって走ったり、ボールを追いかけていたりしています。児童の安全確保のため、校庭に出られる学年を制限したり、熱中症対策のためにやむを得ず運動を禁止したりしなければならないこともありますが、今後も児童が体を動かすことの楽しさや、友達と活動を共にするよさを味わうことができるような指導・支援に努めていきます。

6. 児童が元気に挨拶できるような指導をしていると思いますか。



【令和6年度】

とても思う	31%	85%	8% down
思う	54%		

【令和5年度】

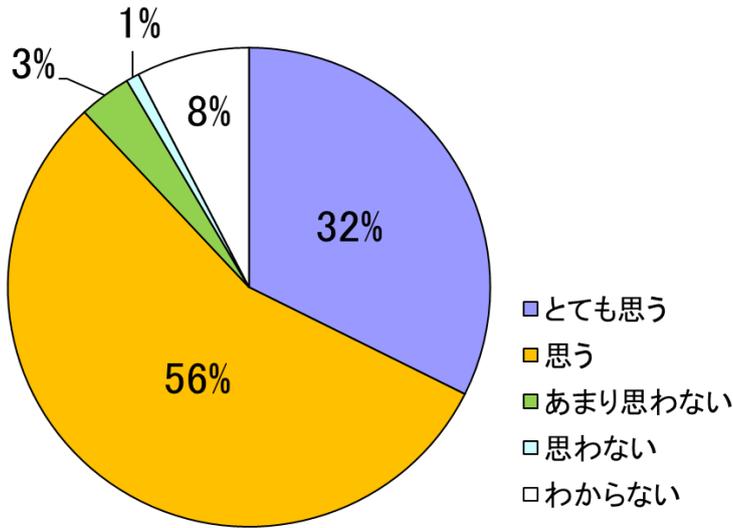
とても思う	36%	93%
思う	57%	

「とても思う」「思う」の回答は全体の93%で、昨年度から8%減少してしまいました。

学校では、1年生から6年生まで、多くの児童が「おはようございます」「さようなら」などの挨拶を元気よく交わすことができている。特に高学年の児童は、朝と帰りだけでなく、校内ですれ違った際には「こんにちは」と挨拶したり、職員室に入る時などには、「失礼します。〇年〇組の〇〇です」と、しっかりとした挨拶をしたりすることができる児童がほとんどです。その姿が、低学年へのよい手本となっています。

学校では今後も挨拶を推進していきます。ご家庭でもぜひお子さんとの挨拶を励行していただき、挨拶することのよさについて共有していただければ幸いです。

7. 日常の教育活動を通して、児童の実態を把握し、児童理解に努めていると思いますか。



【令和6年度】

とても思う	32%	88%	7% down
思う	56%		

【令和5年度】

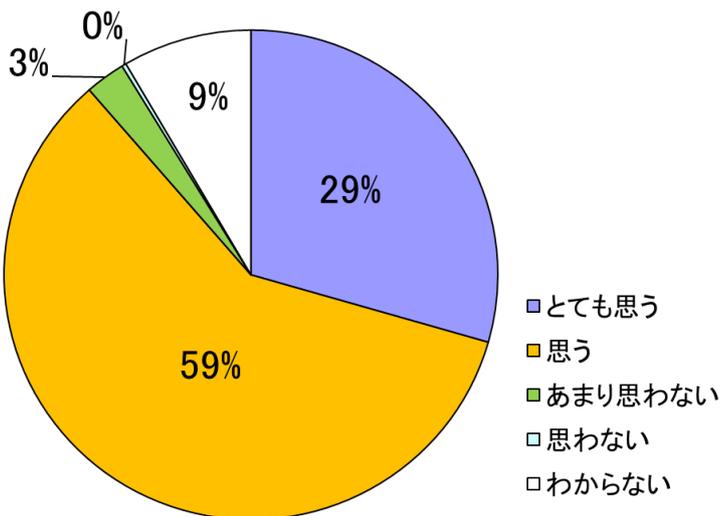
とても思う	28%	95%
思う	67%	

「とても思う」「思う」の回答は全体の88%で、昨年度より7%減少してしまいました。

本校では、教職員一同、児童に積極的に声をかけ、児童の様子を把握することに努めています。また、学年担任間での情報共有や、支援教育コーディネーターとの連携、管理職への報告等を推進することで、児童一人一人に対して学校全体でサポートすることができるように努めています。

保護者の皆様には、ご家庭でのお子さんの様子で何か気になることがあればすぐに学校へご連絡いただきたいと思います。今後も学校と家庭が連携し、よりよい教育活動を行っていききたいと思います。

8. 豊かな心を育てるために、積極的に道徳教育や共生共育、人権尊重教育に取り組んでいると思いますか。



【令和6年度】

とても思う	29%	88%	8% down
思う	59%		

【令和5年度】

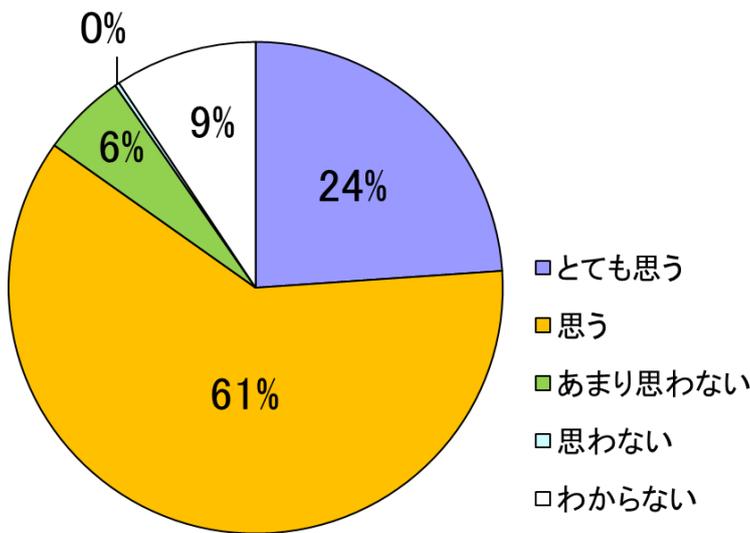
とても思う	35%	96%
思う	61%	

「とても思う」「思う」の回答は全体の88%で、昨年度より8%減少してしまいました。

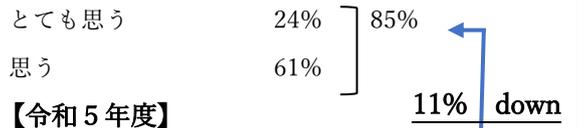
今年度、道徳教育については、積極的に授業公開を行い、学校全体として道徳の授業改善に努めています。また、共生*共育プログラムを実施して、児童が友達と協力して活動することのよさを感じたり、自分や友達のよさに気付いたりすることができるような活動を行っています。

人と人との繋がりが希薄になりつつあると言われる昨今ですが、学校では人とかかわることのよさや、協力することの大切さを感じることができるような活動を多く取り入れるようにしています。ご家庭でもぜひ、お子さんとこれらのことについて話していただければ幸いです。

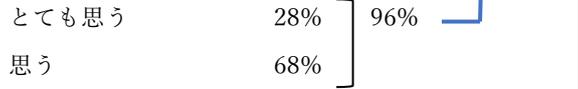
9. 児童が約束を守って生活するような指導がされていると思いますか。



【令和6年度】



【令和5年度】

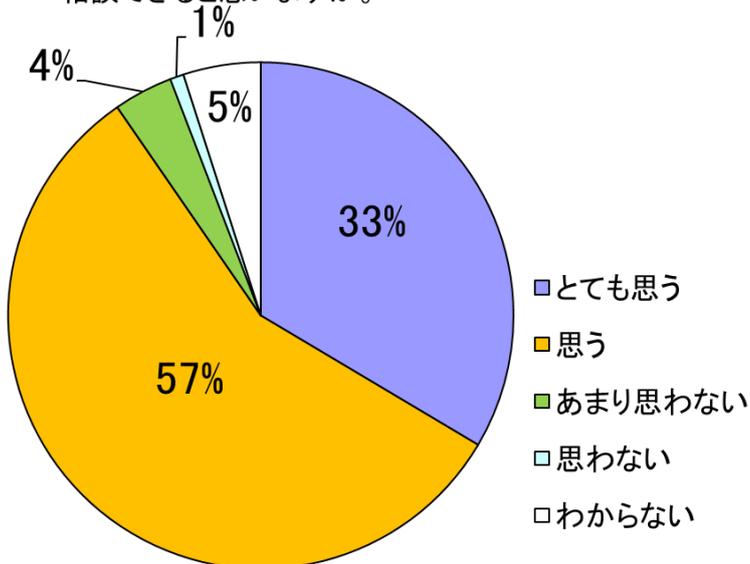


「とても思う」「思う」の回答は全体の85%で、昨年度より11%減少してしまいました。

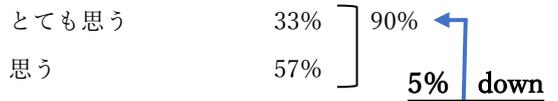
本校では、「柿生小の約束」として、学校生活におけるさまざまな場面での約束事を設け、学校全体での共通理解の下で指導にあたっています。児童には、ただ守ることを強要するのではなく、なぜその約束やルールがあるのか、守るとどんな良いことがあるのか、逆に守らないとどんなことが起きてしまうのかなどについて、道徳の学習や学校生活のさまざまな場面で児童が考えることができるように指導しています。

保護者の皆様にもご理解とご協力をいただきたく、年度初めに「柿生小の約束」を配付したり、学校・学年だより等でお伝えしたりしています。ご家庭でも約束について確認していただくと共に、約束やルールの必要性について話し合っただけであれば幸いです。

10. 学校の教職員は、お子さんについて困った時に相談できると思いますか。



【令和6年度】



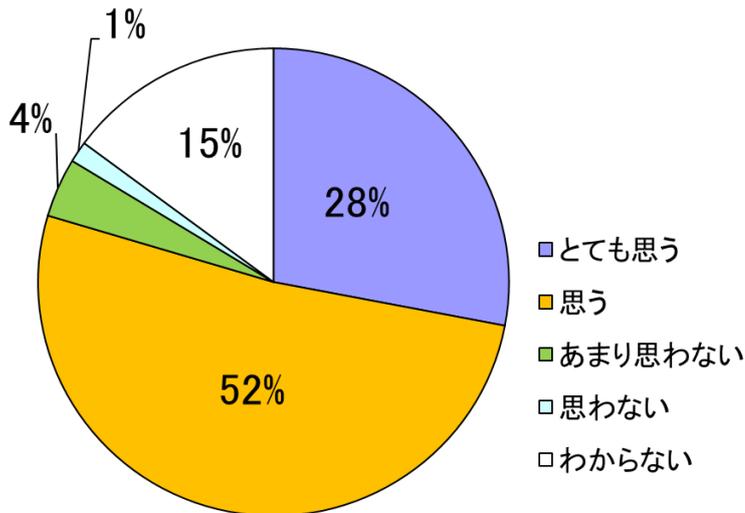
【令和5年度】



「とても思う」「思う」の回答は全体の90%で、昨年度より5%減少しましたが、引き続き多くの保護者の方々に肯定的な回答をいただいています。

本校では、「ソナーで探知」を合言葉に、児童に悩みや困りがあり、助けを求めるサインを待つのではなく、こちらから様子の変化を探して気付くことができるように努めています。また、児童に何か困ったことが起きた際には、学級担任から学年担任全体への情報共有、支援教育コーディネーターや管理職への報告、場合によっては教職員全体への周知を心がけています。そうすることで、より多くの目で児童を見守り、解決を図るようにしています。ただ、教職員だけでは児童の悩みや困りに気付くことができない場合もあります。お子さんが安心して学校に通うことができるようにするためには、保護者の方々との連携は不可欠です。もし、ご家庭でお子さんの様子に心配な点があった際には、すぐに学校へご連絡くださいますようお願いいたします。

11. 児童が悩みを抱えていたり、児童同士で問題が起きたりした時に、解決に向けて積極的に対応できていると思いますか。



【令和6年度】

とても思う	28%	80%	13% down
思う	52%		

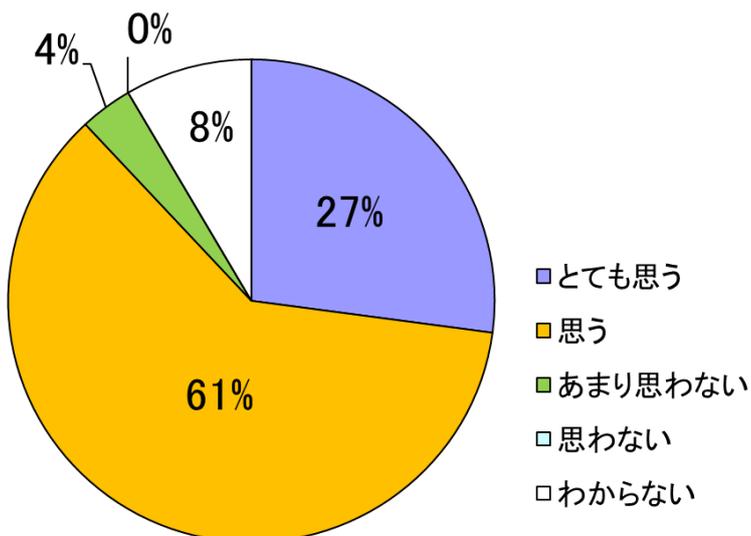
【令和5年度】

とても思う	31%	93%
思う	62%	

「とても思う」「思う」の回答は全体の80%で、昨年度より13%も減少してしまいました。「わからない」と回答された方が15%で、学校での取り組みが保護者の皆様に伝わっていないことも課題の一つとなります。

児童指導は、早期発見が最重要となります。前項に記載した通り、本校では報告や連絡を迅速に行うように努めています。より多くの目で児童を見守り、解決に向けて学校全体で取り組んでいくことができるように、今後もその体制を整えていくことに尽力していきます。保護者の皆様にも、ご家庭でお子さんについて気になる様子が見られた際には学校にご連絡いただき、解決に向けてご協力いただきますようお願いいたします。

12. 学力の基礎基本の定着を図るために、児童が楽しく積極的に学習に取り組める授業をしていると思いますか。



【令和6年度】

とても思う	27%	88%	9% down
思う	61%		

【令和5年度】

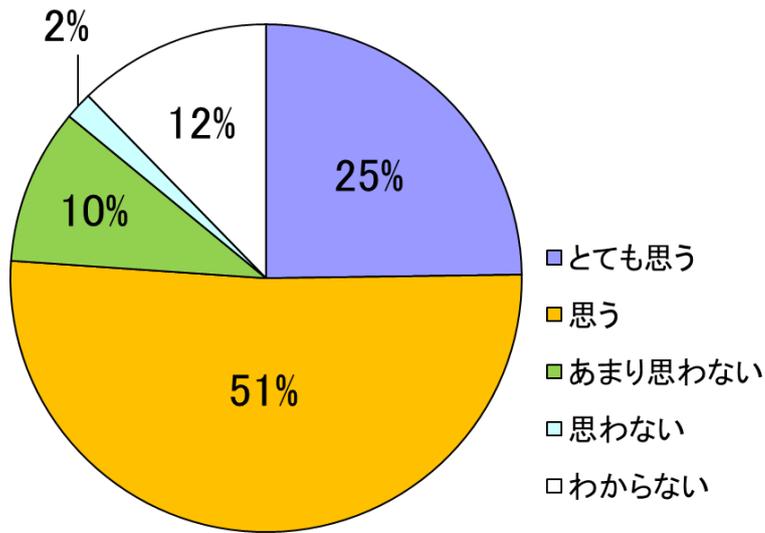
とても思う	32%	97%
思う	65%	

「とても思う」「思う」の回答は全体の88%で、昨年度より9%減少してしまいました。

本校では、児童が自分で課題をもち、その解決の方法を選んで学習を進めていく「課題解決学習」を推進しています。児童が学習内容に興味をもち、「知りたい」「できるようになりたい」と思いながら学習に取り組むことができるような授業計画を心がけています。また、児童一人一人の学習理解に応じて個別に指導したり、中休み等を利用して補習をしたりして、基礎基本の定着に努めています。

今後も、児童が興味・関心をもって学習に取り組むことができるように、教職員一同でよりよい授業を展開するための研究・研修に努めていきます。

13. 個に応じたきめ細かな支援が行われていると思いますか。



【令和6年度】

とても思う	25%	76%	↓
思う	51%		

【令和5年度】

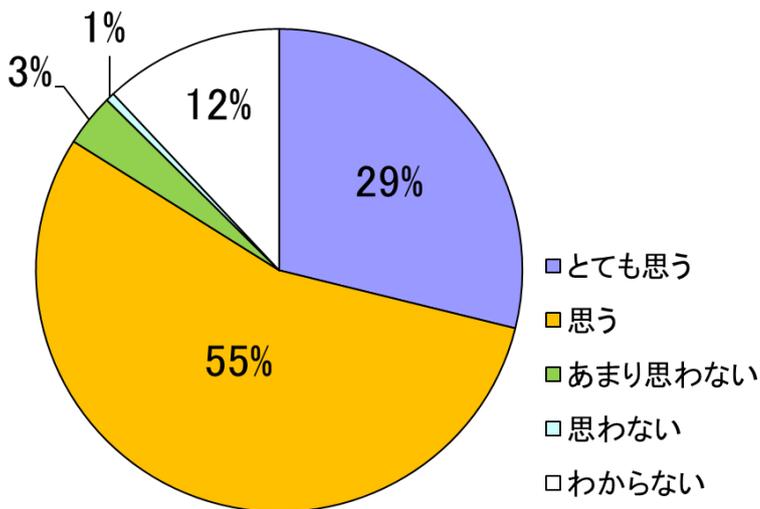
とても思う	26%	86%	↑
思う	60%		

「とても思う」「思う」の回答は全体の76%で、昨年度より10%減少してしまいました。「わからない」と回答された方が12%で、学校での取り組みが保護者の皆様に伝わっていないことも課題の一つとなります。

前項にも記載した通り、学習面においては、児童の理解に応じて個別に指導・支援したり、場合によっては中休みや放課後などの時間を使って補習を行ったりするなど、児童一人一人に寄り添った指導・支援を心がけています。また、学習以外でも、児童が困っている様子があった際には、学級担任はもちろん、学年担任や支援教育コーディネーターなど、より多くの教職員で児童を支えるように努めています。

今後も児童一人一人に寄り添った指導・支援をしていくために、学校全体として体制を整えていきます。

14. ボランティアやゲストティーチャーなどの人材を生かしたり、体験活動を行ったりするなど、教育活動を工夫していると思いますか。



【令和6年度】

とても思う	29%	84%	↓
思う	55%		

【令和5年度】

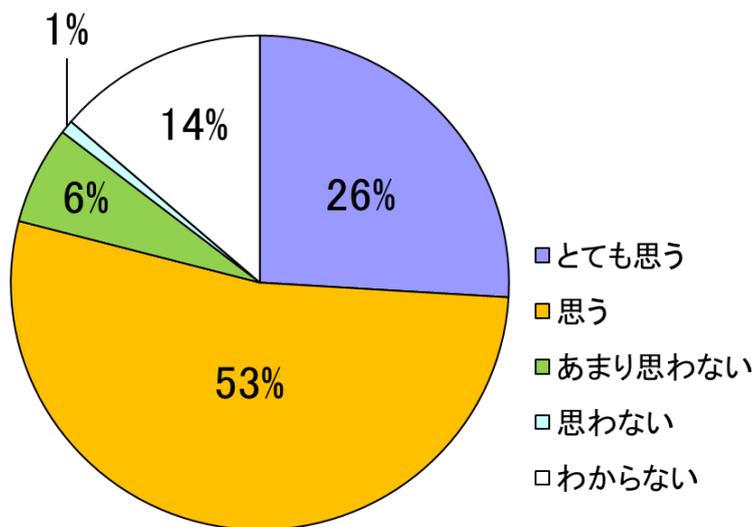
とても思う	32%	93%	↑
思う	61%		

「とても思う」「思う」の回答は全体の84%で、昨年度より9%減少してしまいました。この項目においても「わからない」と回答された方が12%で、学校での取り組みが保護者の方に伝わっていないことも課題の一つとなります。

本校では、各学年においてさまざまな体験学習を行ったり、その道のプロの方にお越しいただいて児童に講話をいただいたり、体験活動を行ったりしています。目の前でプロの方にお話をいただいたり、技術を見せていただいたりすることは、児童にとってこの上ない有意義な学習となります。また、学習場面においても保護者の皆様にボランティアとしてお手伝いいただく機会も多く、学習を円滑に進めることができている。

今後もこのような活動は多く取り入れていきたいと思っております。保護者の皆様にご協力をいただく場面も多いと思っておりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

15. 「自己肯定感を高め、自らの手で未来を切り拓く子の育成」という教育理念のもと、一人一人の個性に合わせた教育活動をしていると思いますか。



【令和6年度】

とても思う	26%	79%	←
思う	53%		
		9% down	

【令和5年度】

とても思う	25%	88%	←
思う	63%		

「とても思う」「思う」の回答は全体の79%で、昨年度より9%減少してしまいました。前項と同じく「わからない」と回答された方が14%で、この項目についても学校での取り組みが保護者の皆様に伝わっていないことが課題の一つとなります。

学校では、さまざまな場面において、児童の「やってみよう」という思いを大切に、その実現のためにどのような支援をしていくか、学級担任や学年担任、あるいは学校全体として検討し、支援しています。「やりたい」と思ったことについて自分自身で計画を立て、その目標に向かって尽力することは、これからの時代を生きていく子供たちにとってとても重要なことです。その力を小学校という発達段階においてどのように育てていくか、今後も学校全体として日常的に検討し、児童にとって最善の支援となるように努めていきます。